

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北三陸 四季香る家

グループの名称

北三陸 家づくり協議会

直近採択グループ番号

06-0466-0056

(グループ代表者)

代表者名

和山 彰志

代表者印

代表者所属先

株式会社サンホームズ

代表者所在地

岩手県久慈市川崎町12番14号

代表者電話番号

0194-52-0077

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ヤマイチ

事務局担当者名

中公 一雄

印

事務局郵便番号

028-0041

事務局所在地

岩手県久慈市長内町第21地割50番地1

事務局電話番号

0194-52-1010

事務局FAX

0194-52-1303

事務局担当者E-mail

nakakou.k@yamaichi1959.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命型は未経験グループの構成員を優先。 ・長寿命、高度省エネ型共にアンケートにより申請申込者を優先し余分は採択数の実績を確保できるように調整する。 								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	14	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	12	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸		
採択床面積		m ²	交付申請床面積		完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北三陸 四季香の家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県・青森県・宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北三陸 家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0466-0056	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・断熱区分に4地域が存在するが、3地域仕様で統一する。(断熱性能の重視)(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・東西に窓を設置して通風し易くする。盛夏には涼風(やませ)を取り入れる。(非住宅は除く) ・建物内に物干し場を設ける(サンルーム・風除室等も含める)。(非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建物東側に植栽を設ける(お施主様の意思を確認し任意とする)。(非住宅は除く) ・東西に窓を設ける。(非住宅は除く)	○
④①～③の背景	・春から秋にかけてオホーツク海高気圧が発達すると「やませ」と呼ばれる涼冷な北東風の濃霧が発生する。 ・「やませ」は涼風であるため、夏季は逆に取り入れれ暑さ対策に利用している。 ・江戸時代は、農作に適さぬ気候のため牧畜が盛んとなり、馬と一緒に生活できる家屋「曲屋」を作る風習があり、南部曲屋と呼ばれた。 ・2～4地域までの断熱区分が混在する地域で、沿岸部は比較的温暖ながら、山間部の寒さは厳しい。 ・非住宅は除く。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・地域型住宅フランド化事業からの実績を踏まえて、未経験事業者の支援活動に注力する。未経験事業者であり続ける理由は、長期優良住宅・ゼロエネルギー・認定低炭素・性能向上計画認定住宅・ZEHなどの新しい規格を消費者に説明できない職人気質もある。今後は資料となるパンフレット等の整備や研修会開催等を進め、支援の柱とする。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ・地域型住宅について、共通標準仕様書を作成し使用する。(施工事業者の独自性は尊重する。)	○
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・省エネ機器の仕様統一から着手し、地域型住宅について、共通標準仕様書を使用し、検討すると共に昨年から取り組みも継続する。(施工事業者の独自性は尊重する。)	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・機器の仕様は毎年見直しを行い、新商品・新技術を取り込む。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・省エネ機器等のメーカーを絞り込むことによって、団体として見積交渉を行いコスト削減に努める。	◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・省エネ機器等のメーカーを絞り込むことによって、省エネデータ資料作成等の合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・上記の省エネ機器等の交渉については北三陸家づくり協議会の役員会が担当する。 ・実施体制: 委員は委員長が任命する。活動は事務局との連携を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・長寿命型住宅、高度省エネ型住宅の申請手続き等のサポート。 ・各種委員会、各種研修会等の案内・召集等。 ・グリーン化事業、または各種施策制度情報の案内・周知。各種新商品情報等の案内等。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容: ・現在、団体としての地域型住宅の施工基準が無いため、北三陸家づくり協議会の役員会にて整備を開始する。 ・基準としては、フラット35の基準程度から作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・地域型住宅の完成引渡前に、「完成検査」を各元請業者で行い、見積項目と不整合がないか点検する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・見積書の表現を消費者に判り易くし、専門用語の仕様を控える。 ・見積商品の、メーカー、品番、定価等消費者に判り易いように表示する。 ・見積書数量1式の仕様を控える。使用する場合根拠を提示する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・グループPRのための資料として共通のパンフレットを使う。 ・ホームページ(インスタグラム)の開設を検討する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容: ・年間休日表等の作成をして年間休日100日を目指す。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容: ・資格取得者への処遇の見直しを検討する。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: ・法人だけでなく個人事業者への社会保険の加入をはたらきかける。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない □ ある → 内容: ・グループで安全大会を開催し安全及び健康の確保に努める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・途中から参加する施工業者は、省エネ講習を受講することを条件とする。 ・地域型住宅の情報センターを事務局に設置し、地域型住宅の説明やローン、補助金等の相談に応じる体制を作る。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北三陸 四季香る家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県・青森県・宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北三陸 家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0466-0056	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅履歴情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報機関にデータを保管する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・プロパティオン(いえかて)に登録する。	◎	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局、施主、施工者が共通のIDにより確認できる。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・高度省エネ型についても、維持管理計画を作成する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・補修工事後に見積書・写真(補修前後)を履歴情報に登録する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検時にアラームメールを設定し関係者に連絡する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で管理勉強会の企画をする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域型住宅の情報センターでのイベントを開催し、DIY・リフォームの講習会等を開催する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局主催の展示会に出展し、相談会を実施する。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・役員が年1階、事務局と連携して構成員に周知させる。	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持管理計画書、維持管理体制を構築するために検討する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検時期に元請会員が作業できない場合、事務局が点検の代替履行业者を紹介する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵保険会社に事務局が依頼し、講習会を行う。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・事務局は、一般ユーザーの総合的な窓口としての活動を行う。	◎		

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・未経験の構成員に対して、施工が可能となるような実務的な研修会・見学会を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域型住宅は性能評価機関の適合証を取得する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・適合証(認定証)を交付申請時に事務局で確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・地域型住宅の増加が見込まれることに伴い、地域材の受給見込み等の策定をする。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・省エネ義務化に備え「省エネルギー性能向上」に向けた講習会を受講する。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・設計構成員は、外皮計算・一次エネルギー計算を習得し施工構成員を支援する。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 30	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 30	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局で未経験者名簿を作成し、講習会開催予定を確認し、受講者に通知し受講を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・該当ありません。	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・該当ありません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・該当ありません。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北三陸 四季香る家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県・青森県・宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北三陸 家づくり協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0466-0056	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	・主要構造材はKD材又は、集成材を使用。土台に関しては防腐処理材(非乾燥)やD1樹種の仕様も可とする。 土台:合法木材証明制度(国内・国外)、及び岩手県産材制度(岩手県) 桧、米桐防腐、唐松集成 柱:合法木材証明制度(国内・国外)、及び岩手県産材証明制度(岩手県) 杉、唐松等 梁、桁:合法木材証明制度(国内・国外)、PEFC認証制度(国外)、FSC認証制度(国内)及び及び岩手県産材証明制度(岩手県) 杉、米マツ、唐松等 主要構造材(土台、柱、梁、桁)で地域材50%以上使用。 □ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上 土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している 【補足】 地域型住宅の地域材の供給の流れ ○ 一部、施工グループの構成員においては、全て手刻みによる可能を行う為、地域材の供給の流れの中で、製材・集成材・合板グループから直接購入を行う場合がある。 また、一部流通グループを介さず、地域材の調達を行う場合がある。(一部プレカット加工を使用する場合) ○ 原木の一部においては、○○森林管理署が管理する国有林の競争入札によって原木の調達を行う予定がある。この際の、原木の出荷証明の取得は無い ※ 合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な場合が多々ある。 この為、製材・集成材・合板・流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替 地域材供給フロー等
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	□ ない ■ ある → 内容: ・事務局が木材流通と協力し在庫把握に努めている。 □ ない ■ ある → 内容: ・事務局が木材流通と協力し製品価格・在庫把握情報を確認している。 □ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・地域材の情報を、事務局と木材流通から施工構成員に通知している。
c	①-1 畳の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 100枚 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 60坪 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 (3×6換算) 20枚 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 (3×6換算) 10枚 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取入れた取組 その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・「やませ」が発生する地域であるため、室内に物干し場を設ける。 ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ■ 行っていない □ 行っている → 内容: ・特にありません
カ. その他		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄		
	東日本大震災の復興に資する取組	被災地区になるので、自力再生者にグリーン化事業をひろめていく。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	<small>（地域型住宅の名称）</small> 北三陸 四季香る家	<small>（地域型住宅供給対象地域）</small> 岩手県・青森県・宮城県
2. グループの名称・結成年月（必須）	<small>（グループの名称）</small> 北三陸 家づくり協議会	<small>（結成年）</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0466-0056	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>①【ゼロ・エネルギー住宅】への取り組み</p> <p>ゼロエネルギー住宅は、住宅版BELS認証を取得することとする。 太陽光発電を除く一次消費エネルギー削減率(R0)を20%以上にする。 変換効率の高い太陽光発電光発電を採用し、一次消費エネルギー削減率を100%以上にする。</p> <p>②【認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅】への取り組み</p> <p>断熱性能アップのため、高性能の断熱材を使用する。 給湯器、エアコンは、高効率なものを使用する。 サッシは、アルミ樹脂複合サッシ又は樹脂サッシを使用する。 照明機器については、白熱灯を使用しない。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。